

進路だより

市立札幌啓北商業高校
進路指導部
令和6年12月16日
第4号

今年の就職内定状況は？

9月16日の解禁から就職希望者が入社試験に挑み、10月までに全員が内定を得ることができました。4月から自分はどんな人間かを考え、やりたい仕事や長く勤められる企業を一生懸命探し、企業分析や履歴書書き、面接練習など、採用に向け努力を重ねてきました。社会に出るためには物事を自分で主体的に考えることが必要です。学校とは違い、質の伴う仕事をこなしながら給料に見合う結果も求められます。失敗や間違いといった経験も積み重ね、色々な世代の人との関わりなど、場面に応じた対応力や、自分で選択しながら要求に気づいていく意識も必要です。就職してからが本当の始まりですが、将来を自分で見出し、必要な努力を実行に移したここでの経験は、社会人になってからも基本となる素養です。新社会人として、自信をもって活躍して欲しいと思います。内定の出た生徒の振り返りを掲載します。1.2年生はいつかの自分に置き換えて読んでみてください。

私がこれまでの進路活動を振り返って一番に思うことは、1年生の時からもっと進路や将来を意識して生活するべきだったなということです。3年になる前から本気で就職活動に取り組んでいればよかったと後悔しています。

そう考える1つ目の理由は、私自身一番行きたかった企業を見つけたのに、2年生までの欠席や単位等の影響で採用がかなり難しく、校内でも他の誰ともかぶらない企業に決めたからです。2年生の時は、3年生から始まる就職活動のことなんて気にも留めずに欠席や早退、遅刻を重ねてしまい、正直だらしない学校生活を送っていました。それが実際3年生になり、自分を見つめ直したり、将来を考える機会が増えて働く意識が大きく変わっていきました。6月後半になると本格的に就職活動が始まりました。求人票を見て応募する企業に目星をつけ、見学にも行って何度もここでいいか確認していざ応募しよう！と考えた矢先、自分の過去の欠席数や、遅刻・早退が足を引っ張り、第一志望の企業ではなく、別の企業に応募することになりました。でも一方で、今まで第一志望の会社しか目に入っていなかったけど、その会社に応募したことで、あらためてその会社を深く知ることができたり、実際に面接に行った際に、その企業の先輩社員さんとの会話や課長さん常務さんとの会話からその応募した企業の良さに気づくことができました。この体験を通して私は、先を見据えた行動や、進路は自分自身のことだと責任をもって考えたりするようになりました。自分が起こした行動や結果が、将来の自分に影響してしまうことを社会人になる前に気づけて良かったとも思っています。

2つ目は「最初から本気で取り組みればよかった」ということです。実際、就職活動のスパンはとても短く、自分自身に余裕がなくなったり、精神的に焦ることで準備にも支障が出ました。最初の自分は、物事を簡単にとらえていて危機感も感じておらず、色々な事に失敗して履歴書も何度も書き直しを繰り返していましたが、途中から心が折れて字が汚くなったり、文章が変になったり集中力も持てずに企業に出せる履歴書に仕上げるのにとても時間がかかりました。その後の面接練習や準備にも大きく影響してしまい、もっと時間に余裕をもって集中力を保ったまま就職活動に取り組めればよかったと後悔しています。

今振り返ると、今年の就職活動以外にも後悔がいくらか出てくるくらい「ああしておけばよかった」とやり直したいことが沢山出てきます。面接練習だったり、1・2年の生活もそうだし、もっとできることが沢山あったと今振り返っています。ですが、逆に高校3年生でこの貴重な体験ができたことや、過去の後悔から学べたことがたくさんあります。その学んだことを生かし、就職先で同じ失敗をしないよう頑張りたいと思っています。内定も厳しいかもと最初は思ったけど、何とか無事に入社できることになりました。これまでの就職活動で学んだことを思い返しながらか就職先で活かしていきたいと思えます。

《就職内定先》12/22現在 ※()は職種・内定者数

北海道電力(事務1) 国分北海道(事務1) 札幌(事務1) コッテリ債権回収(事務3) 社会保険診療報酬支払基金(事務2) トライコム(事務1) マリンバンク(窓口1) 日本郵便(窓口2) YKKAP(営業1) パナソニックSSサービス(営業2) デンコドー(販売1) 東芝コンシューマーマーケティング(営業1) 柳月(販売1) イノ北海道(販売2) アート引越センター(引越3) ほくやく(オペレーター2) 秋山興業(商品管理1) アクシオ(事務1)※自己開拓

2024 年度 公務員試験

今年の公務員試験は多くの生徒が第1志望や第2志望の受験先に合格することができました。1・2年生の時から学校の授業はもちろん、公務員試験対策として模試を受け続けたり、講習会に通ったりと努力を続けてきたからです。合格した皆さんはその努力を誇ってほしいですし、1・2年生の皆さんは自分たちの合格発表のときに誇れる程の努力をしてほしいと思います。

公務員試験合格名簿登録者（12/8現在）

国家公務員（税務職）（2） 北海道職員（警察行政）（1） 北海道職員（一般行政）（1）
北海道警察（2） 刑務官（1） 国家公務員（一般職）（1） 陸上自衛官候補生（1）
陸上自衛隊一般曹候補生（1）

11月6日（水） 高大連携事業を実施しました

代々木ゼミナール札幌校の石橋様を講師としてお迎えし、「進学について」というテーマでご講演いただきました。石橋様は、進路選択に向けた準備の重要性について具体的な例を交えながら、わかりやすくお話ししてくださいました。いざというときに力を発揮するためには、日々コツコツと積み重ねることが不可欠であることや「準備が大切」だと強調されていましたね。生徒のみなさんも、「今からできることは何か」を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。また、今回のテーマと関連して、「ドリーム・ハラスメント 夢で若者を追い詰める大人たち」（著：高部大門）という本をご紹介します。この本では、夢を持つことのプレッシャーや、そのプレッシャーに対しての考え方について述べられています。特に、将来の「目標」や「夢」に対して迷いや不安を感じている人や将来教員を目指している人には一度読んでみることをおすすめします。冬休みにじっくり読んでみるのも良いでしょう。

進路を考えると、大切なのは無理をせず、ゆとりを持ってできることを一つずつ積み重ねていくことではないのでしょうか。今回の講演や本を通じて、次のステップに向けたヒントを得て、前向きに取り組んでいきましょう！



職場体験学習を実施しました



11月6日（水）・7日（木）の2日間、2学年生徒232名が職場体験学習を実施しました。

社会で活躍されている方々の活動を間近で拝見することにより、働くことを肌で感じ、高校卒業後の具体的な進路を考える貴重な機会になったのではないのでしょうか。実習先では啓北を卒業した先輩方がたくさん活躍されており、優しく指導してくれたようです。担当の方からは「清潔感、節度もあり言葉遣いもしっかりしていました」「説明時はメモをとりながら聞いてくれました。実習も真剣に取り組んでいました」「積極的に質問しており、熱意を感じました」等の感想をいただいています。

生徒の中には反省や自分に足りない部分を感じ、改めて自分を見つめ直した人もいたようです。職場体験学習を引き受けてくださった事業所に感謝の気持ちを持つとともに、2日間で学んださまざまな経験を教訓として、将来の理想の生き方について考え、希望する進路実現をしてほしいと思います。

